



泉新だより

令和3年3月1日
練馬区立泉新小学校
校長 豊田 克史

一年を振り返って ～「節目」を生かす～

副校長 太田 和宏

校庭の紅梅と白梅が見事に咲きそろいました。一年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。誰もが、これまでに経験したことがない状況下の一年でした。できなかったこともありました。工夫して取り組めたことも多くありました。登校が始まった6月頃と比べると、心身ともにしっかりと成長した子供たちの姿が見られます。

先月の全校朝会では、オンラインを使って「節目」についての話をしました。太陽の動きを基に一年を「春夏秋冬」の四つの季節に分け、さらにそれぞれの季節を6分割した「立春」や「春分」などを「二十四節気」と言うことなどについて、プレゼンテーション画面も使って説明しました。「季節」や「二十四節気」も「節」の漢字を使っており、物事の区切りとなる大事なところである「節目」と同じ意味です。また、「節目」には「木材や竹の節があるところ」という意味もあります。特に日本を代表する竹は、雪の重みや強い雨風にも耐え、たくさんの節目をもって空に向かって真っすぐに成長します。3月は、修了式や卒業式があり、子供たちにとっても一年間の「節目」となります。竹のように真っすぐな心をもって、これからもたくましく育ててほしいと願っています。

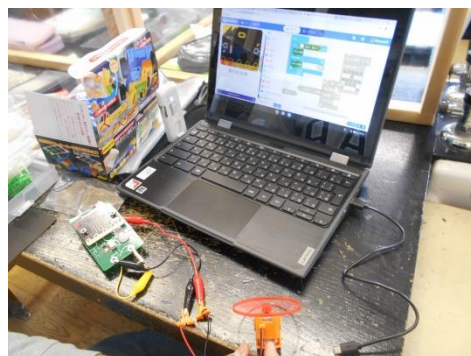
さて、1月末から児童一人に1台のタブレットPCが配付され、少しずつ学習に活用し始めているところです。ご家庭で充電などにご協力をいただきありがとうございます。6年生の理科「電気の利用」では、センサーを使用して、発光ダイオードの点灯を制御することを通して、その仕組みを体験的に学習しました。そのほか、「Google ドキュメント」

(Microsoft 社 Word と同様のワープロアプリ) や「Google スライド」(PowerPoint 同様のプレゼンテーション作成アプリ) を使って、自分で調べたことをまとめようとしている学年もあります。また、タブレットの良さを活かし、低学年では「タッチペン」を使って画面上に文字を書くドリル学習にも取り組んでいます。ICT機器を使ってできることを、少しずつ学んでいます。

子供たちは、この3月末で「進級・進学」となり、別れと新たな出会いを経験します。この「節目」のときを活かし、より一層、すくすくと元気に育ててほしいと思います。

6年生の保護者の皆様、これまでのご支援やご協力をありがとうございました。これからも、泉新小学校の発展を見守っていただけましたら幸いです。

子供たちには、しなやかさと力強さの基となる「節」を築き、これからの力の源となることと信じています。今後ともよろしく願いいたします。



プログラミング教育(6年理科)

令和3年度 学級編成(クラス替え)について

本年度より本校では、進級の際、全学級において学級編成を実施しています。これは、児童が、新たな気持ちで新しい学年をスタートすることにより、意欲的に学校生活をおくることができるなどの教育的効果が見込まれるからです。また、学校では、友達とのかかわりを通して一人一人の成長を促すことで、児童の人間関係が広がります。さらに、児童の成長に合わせ、学級ごとの偏りを毎年見直すこともできます。担任も同様に替わることを基本としますが、校務分掌などの関係で、同じ担任となる場合があります。どうかご理解のほど、よろしく願いいたします。

